

予防と対策

厚生労働省の検討会の報告によれば、じん肺の所見がある者は、肺がんのリスクが高いとされています。じん肺を予防するため、粉じんばく露防止対策の実施状況を点検し、その徹底を図りましょう。

I 粉じんばく露防止対策について

- 粉じん発生の少ない生産工程、作業方法等への改善および原材料の変更等
- 密閉化、局所排気装置またはプッシュプル型換気装置の設置、湿式化等の対策の実施
- 全体換気装置の設置等の対策の実施
- 作業環境測定に基づく作業環境の評価および評価結果に基づく適切な作業環境改善措置の実施
- 呼吸用保護具の着用の徹底および適切な使用
- 粉じん作業に従事する労働者に対する特別の教育または特別の教育に準じた教育の実施
- 局所排気装置等の定期的な検査および点検
- たい積粉じんによる二次的発散防止のための清掃の実施
- 粉じん作業場以外の場所への休憩設備の設置

II 具体的な粉じん障害防止対策について

具体的な対策については、「粉じん障害防止規則(http://www.jaish.gr.jp/hor_s_shsi/206)」および「粉じん障害防止総合対策推進要綱(http://www.jaish.gr.jp/hor_s_shsi/100077)」に定められています。さらに、「ずい道等建設工事における粉じん対策に関するガイドライン(http://www.jaish.gr.jp/hor_s_shsi/100151)」、「じん肺有所見者に対する健康管理教育のためのガイドライン(http://www.jaish.gr.jp/hor_s_shsi/954)」等の通達が示されていますので、それらに基づいて、再点検をしましょう。

III 禁煙のすすめ

- 「たばこ」は、いろいろながん、高血圧、狭心症、心筋梗塞など、さまざまな病気の危険因子とされています。
- 「たばこ」を吸っている人は、「たばこ」を吸っていない人に比べ、肺がんなどの発生リスクが高いことが知られています。
- じん肺の所見のある方(じん肺管理区分が管理2以上)は、肺がんの発生リスクが高まり、喫煙が加わると、さらに、発生リスクが上昇するとされています。
- このため、粉じん作業に従事する労働者に対して、教育等の機会を捉えて、特に積極的に禁煙を働きかけることが重要です。